

### 3 城内地区まちづくりの目標と方針

#### (1) 目標

#### **懐かしさにふれ 地域を学び 新たな活動が生まれるまち 城内**

尼崎は産業都市としてのイメージが強いが、近世には尼崎城があり都市文化も繁栄していた。それもまた尼崎の顔である。

尼崎に残る歴史文化的資源を保全活用し本物の魅力を高めていく中で、市民活動の活性化、都市のイメージアップをはかっていく。

城内地区は、そうした尼崎の新しいまちづくりの発信地であり、市民が集い、地域を学び、新たな活動が生まれるまちづくりをめざす。

歴史文化にふれ、懐かしさや安らぎを感じられるまち  
市民や子供たちが地域を学ぶまち  
市民の新たな活動や交流が生まれるまち

#### (2) 方針

周辺地区と連携した魅力的なまちづくりを展開する

城内を拠点に、寺町や築地・大物、ユニチカ記念館など歴史文化ゾーンを結びつけ、さらに、中央・三和・出屋敷商業エリアの賑わいやゆしみ、都市文化エリア（アルカイック・庄下川東地区）の文化芸術などとの連携をはかり、多様な魅力のあるまちづくりを一体的に展開する。

歴史文化ツーリズムなど都市観光の誘引、中央・三和・出屋敷商業地区との回遊性の創出、快適な散策ルートの設定など、まちに人の元気があふれる活力あるまちづくりの波及・創出をめざす。

本物の魅力を活用し歴史文化の拠点を形成する

かつてお城が築かれ、街の繁栄の基礎となった地区であることから、全市的視点をもって歴史文化の拠点づくりを進める。

尼崎城という近世の歴史の上に、大正から昭和初期の近代建築に代表される近代の歴史文化が積み重なっている地区であることを活かし、重層的な歴史文化を伝える。

従来からの産業・ものづくりのイメージに加えて、歴史文化という都市イメージを付加し、都市の風格の引き上げにつなげる。

#### 人材の育成と市民活動の活性化を図る

小さな子供たちからお年寄りまでが、自らが暮らすまち（＝尼崎）の歴史文化に気軽に触れて、学び、そしてまちづくりを担う人材を育む場を提供する。

教育・研究機関等と連携し、地域の人々が支援することにより、広範で高度な学習・情報発信の機会を創出する。

歴史文化の拠点における地域研究等の市民活動、ボランティア活動、NPO等民間によるプログラム提供、企業等の参加を得た展示など、多様な主体の活動・育成拠点としての機能を強化する。

これらのことを通じ、城内地区や尼崎への愛着心、誇りを育む。

## 4 主な取組内容

### (1) 計画内容

#### (仮称)歴史文化センターの整備

歴史的建造物である旧城内中学校、旧尼崎警察署を地域資産として保存の上、(仮称)歴史文化センターとして再生し、本市における歴史文化の拠点形成する。

旧城内中学校は(仮称)歴史文化センター本館に、体育館は(仮称)尼崎城発掘体験保存館に、旧尼崎警察署は(仮称)大正・昭和の思い出館に整備する。

#### 東町開明線の整備

寺町から大物に至る歴史文化ゾーンを東西に連絡する「地域軸」として整備する。

通過交通対策にも配慮した安全快適な歩行者空間、緑豊かなゆとりある歩行者空間を形成する。旧城内中学校敷地に面する部分は都市計画道路と一体的な遊歩道を整備する。

#### 城址公園周辺整備

城址公園、中央図書館、歴史博物館用地一帯は、まとまりある公共的なエリアとして、城内地区の玄関口にふさわしい空間整備を図る。

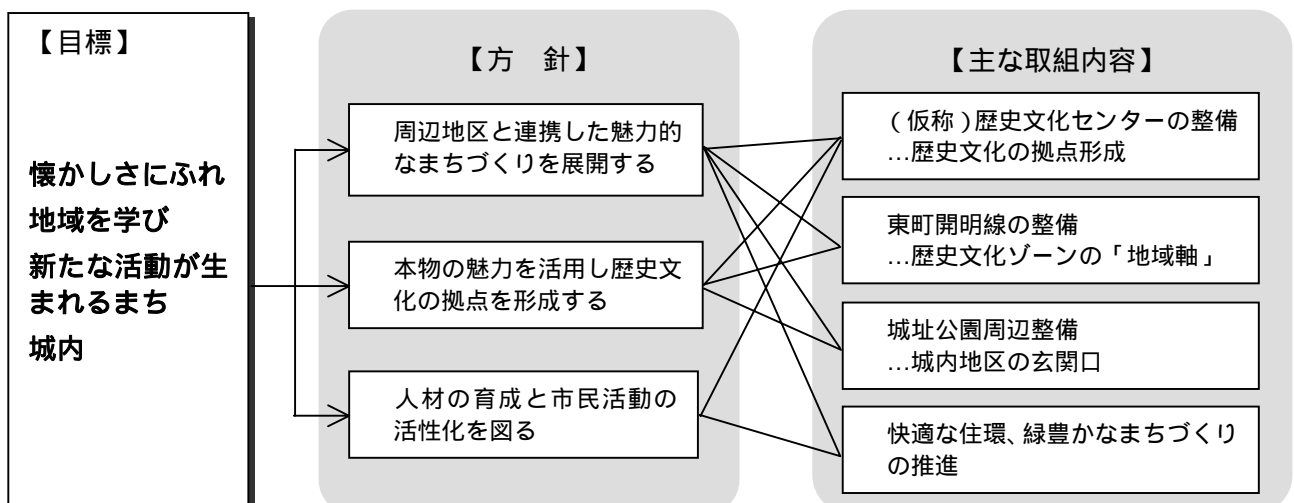
#### 快適な住環境、緑豊かなまちづくりの推進

歴史的、文化的環境と調和した、城内地区にふさわしい住環境を形成するため、中低層住宅を中心とした落ち着いた緑のある町並み景観づくりに取り組む。

参加型マネジメントに向けた取り組みを推進する。

### (2) 計画期間

平成20年度から、概ね10年間とする。



# 城内地区まちづくり 主な取組内容

- ① (仮称) 歴史文化センターの整備
- ② 東町開明線の整備
- ③ 城址公園周辺整備
- ④ 快適な住環境、緑豊かなまちづくりの推進

## ③城址公園周辺整備

城址公園、中央図書館、歴史博物館用地一帯は、まとまりのある公共的なエリアとして、城内地区の玄関口にあさわしい空間整備を図る。



## ④快適な住環境、緑豊かなまちづくりの推進

歴史的、文化的環境と調和した、城内地区にあさわしい住環境を形成するため、中低層住宅を中心とした落ち着いた緑のある町並み景観づくりに取り組む。  
参加型マネジメントに向けた取り組みを推進する。

## ①(仮称)歴史文化センターの整備

歴史的建造物である旧城内中学校、旧尼崎警察署を地域資産として保存の上、(仮称)歴史文化センターとして再生し、本市における歴史文化の拠点を形成する。旧城内中学校は(仮称)歴史文化センター本館に、体育館は(仮称)尼崎城発掘体験保存館に、旧尼崎警察署は(仮称)大正・昭和の想い出館に、整備する。



## ②東町開明線の整備

寺町から大物に至る歴史文化ゾーンを東西に連絡する「地球軸」として整備する。通過交通対策にも配慮した安全快適な歩行者空間、緑豊かなゆとりある歩行者空間を形成する。旧城内中学校敷地に面する部分は都市計画道路と一体的な遊歩道を整備する。

